

➤ 東京電力に対する質問

○ 『6号機ロッキングと人工岩盤との関係について』(H21.10.7 地域の会説明資料)

に対する質問

1. 6号機原子炉建屋の基礎直下人工岩盤の影響を擬似3次元有限要素法解析のNS方向により検討しているが、むしろEW方向の方がより適正に検討できるのではないか？  
(P2 参照)

理由① 県技術委、地小委 20-1、「6号機の耐震安全性について」の3番目の説明項目、「6号機の上下動が大きいこと」についての、P88の検討3：入力地震動が号機間で異なる要因分析の応答スペクトルの比較では、周期0.3秒付近について5/6号機のEW成分が7号機より大きかった。

理由② 震源断層や海岸線の方向はほぼNS方向なので、それと直交するEW方向が最も水平動が大きくなる。

2. 各断面ごとの個別のケースとの比較では三次元的影響を評価する模擬実験とはいえないのではないか？(P3~4 参照)

理由 この方向では各ケース間の力学的相互作用が無視されているため。

3. むしろ実物を縮小した立体模型を使った模擬実験の方がより正しく三次元的に評価できるのではないか？

4. 6号機タービン建屋の上下動や人工岩盤の影響についてはどう評価したのか？